

公益財団法人 北九州国際交流協会

公益財団法人 北九州国際交流協会

I 法人の概要（令和8年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ3階

2 設立年月日

平成2年7月25日

3 代表者

理事長 福原 公子

4 基本財産

300,000 千円

5 北九州市の出捐金

300,000 千円（出捐の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	1 人	6 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	12 人	2 人	0 人	10 人

7 団体のミッション

- ① 市の国際政策・方針を具体的な取組へ展開し、政策の実効性を確保し、実現する。
- ② 外国人市民の定住に向けた社会生活適応と自立を支援する。
- ③ 共生社会の実現に向け、団体が有するノウハウを生かして地域や学校、企業等をコーディネートする。
- ④ 多様な声を拾い上げ、外国人市民の抱える課題を整理・可視化し、市の政策形成に反映させる提案を行う。

II 令和7年度事業実績

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3（2021）年度を初年度とする5か年の中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施した。

中期計画の5年目となる令和7（2025）年度は、新型コロナによる入国制限緩和後に急増し、コロナ前を上まわっている外国人市民（令和6年12月末17,280人）との共生社会の実現に向けた取組みを引き続き推進した。具体的には、

- 1 平成 31(2019)年 4 月に設置した「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」において、外国人市民への多言語による生活全般の情報提供・相談。
- 2 「生活支援」の 1 つとして、外国人市民への防災対策を充実。
- 3 外国人市民の言葉の壁を取り除くために、外国人市民への日本語教育を充実させ、同時に地域住民等への「やさしい日本語」の普及の取組み等に努めた。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民の相談窓口の充実等

ア 北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの取組み

外国人市民が安心して相談できるよう支援体制の強化・充実に努める。

- 協会（八幡西区コムシティ 3 階）及び小倉北区役所で、「外国語相談員」が日本語、英語、中国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語は電話通訳を活用した多言語通訳システム等の活用により日本語を含む最大 24 言語の相談に対応
- 前年度、試行的に区役所等で導入した「オンライン相談」の本格化
- 多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を中心に関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローの実施
- 日本語教育に関する相談に、「日本語コーディネーター」が「外国語相談員」と連携して対応

対応日時：月曜～金曜日 9：30～16：00

相談者数：1,304 人 相談件数：1,760 件

- 「相談通訳コーディネーター」が、翻訳などのサポーターや行政・医療通訳ボランティアの育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援の実施

※コミュニティ通訳業務（市の委託事業）

対応件数：174 件（内派遣件数 82 件）

言語別件数：英語 65 件、中国語 61 件、ベトナム語 27 件、ネパール語 19 件、
韓国語 1 件、タガログ語 1 件

内容別件数：区役所（行政手続）関係 64 件、子育て支援（子ども関係）81 件、
子育て支援（母親関係）14 件、医療機関・保健所業務 9 件、その他 6 件

※医療通訳派遣（協会の法人賛助会員は無料）

派遣件数：18 件

言語別件数：英語 2 件、中国語 6 件、ベトナム語 10 件

診療科別件数：内科 9 件、産婦人科 8 件、眼科 3 件、循環器科 1 件、整形外科 1 件、
（複数科受診を含む）

※産婦人科 8 件は行政通訳（医療機関）との二重カウント

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施した。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」	1 回/月	相談件数：62 件
○弁護士による「法律相談」	1 回/月	相談件数：13 件
○臨床心理士による「心理カウンセリング」	2 回/年	相談件数：1 件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

開催日：10 月 9 日（八幡西生涯学習総合センター大会議室） 参加者数：28 人

1 月 27 日（八幡西生涯学習総合センター大会議室） 参加者数：32 人

出席機関：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、北九州市（国際政策課、地域福祉推進課、区保健福祉課等）

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報

日本語、英語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したホームページやフェイスブック、インスタグラムによって効果的な情報発信を行った。

※ホームページアクセス件数

日本語 98,262 件、英語 7,699 件、中国語 3,198 件、韓国語 2,031 件

ベトナム語 2,328 件、やさしい日本語 2,373 件 合計 115,891 件

Facebook フォロワー数：1,680 人 Instagram フォロワー数：986 人

イ 外国人市民への防災対策

(ア) 外国人市民等への防災研修

○外国人市民のための防災訓練スタディツアー（市の委託事業）

地域住民との顔が見える関係づくり及び防災について意識を啓発するために八幡西区の防災訓練に参加した。（英語通訳付きで実施）

開催日：10 月 25 日

場所：引野小学校、北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

参加者数：19 人（フィリピン、インドネシア、イラン、モンゴル、中国、台湾、ベトナム）

(イ) 北九州市災害多言語支援センターの運営

○外国人支援者向け防災研修（市の委託事業）

開催日：2 月 4 日 10:30～12:00

場所：八幡西生涯学習総合センター大会議室

参加者数：27 人（北九州市関係部署職員、北九州市内警察署員、JICA 九州、社会福祉協議会、市民センター館長、協会職員等）

講師：熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷 知美 氏

内容：災害時の外国人支援「災害時に役立つやさしい日本語」についての講義

- 「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」運用研修（市の委託事業）
就業中の災害（集中豪雨）発生を想定し、マニュアルに沿って3つの班に分かれて、センター設置の周知や外国人に向けた情報発信、相談対応業務をシミュレーションした。

日 時：令和8年2月21日 13:30～16:00

場 所：北九州国際交流協会内

講 師：熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷 知美 氏

参加者：北九州国際交流協会職員、北九州市職員 計16人

(3) 日本語教育の推進と ICT 活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人を対象とした協会主催の日本語教室は、ICT を活用し、外国人児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は対面形式で教室を開催した。

(ア) 外国人生活者支援

○「にほんご1」(オンライン)

開催期間： 5月14日～3月4日 1期20回、年間3期実施

(毎週水・金曜日 10:00～11:30)

開催回数： 60回 登録学習者数：32人（実数）

学習者の国籍：フィリピン、中国、ベトナム、アメリカ、ドイツ、カナダ、台湾、バングラディッシュ、スペイン、モンゴル、ネパール、タイ、インドネシア、スリランカ、トルコ、マダガスカル

○「にほんご2」(オンライン)

開催期間： 5月13日～3月5日 1期20回、年間3期実施

(毎週火・木曜日 10:00～11:30)

開催回数： 60回 登録学習者数：32人（実数）

学習者の国籍：アメリカ、メキシコ、中国、台湾、タイ、フィリピン、ネパール、アメリカ、スイス、インドネシア、ドイツ、ボリビア、ベトナム、カナダ、スペイン、フィリピン、モンゴル、マダガスカル、バングラディッシュ

○「にほんご3」(オンライン)

開催期間： 5月12日～3月2日 1期10回、年間3期実施

(毎週月曜日 10:00～11:30)

開催回数： 30回 登録学習者数：12人（実数）

学習者の国籍：バングラディッシュ、インドネシア、モンゴル、中国、フィリピン、インドネシア、アメリカ、ドイツ、ベトナム

(イ) 外国人子ども支援（児童生徒を対象にした日本語教室）

○「にほんごひろば」(対面)

開催期間：6月14日～2月21日（土曜日 10:00～11:30）

開催場所：北九州 YMCA

開催回数：11回 登録学習者数：20人 登録ボランティア数：18人

学習者の国籍：中国、ベトナム、フィリピン、モンゴル、ネパール、インド

○「なつやすみにほんごひろば」(対面)

開催期間：7月22日～8月1日(火曜～金曜 10:00～11:00)

開催場所：北九州YMCA、北九州国際交流協会

開催回数：8回 登録学習者数：12人 登録ボランティア数：17人

学習者の国籍：中国、ベトナム、ネパール、フィリピン、モンゴル、セネガル

(ウ) 直営日本語教室日本語パートナーのための研修(オンライン)

開催期間：4月24日～12月5日 計20回

参加者数：27人(実数)

(エ) 日本語交流マッチングパートナー制度の実施(オンライン)

開催時期：6月

実施回数：2組(日本語学習支援者と日本語学習者のペア)×80分×3回

参加者：日本語学習支援者2人、日本語学習者2人(国籍：ネパール)

(オ) にほんごひろばボランティア研修(オンライン)

開催時期：5月31日～7月8日 計9回

参加者数：18人(実数)

(カ) 日本語教育人材研修

①テーマ：外国ルーツの子どもたちへの入門期から基礎の日本語指導／学習支援

開催日：a. 令和7年7月25日(金) 14:00～17:00

b. 令和7年7月26日(土) 9:30～12:30

c. 令和8年2月14日(土) 10:00～11:30

場 所：a. 小倉中央小学校 b. 北九州国際会議場 c. オンライン

参加者：北九州で子ども・若者に日本語指導を行っている支援者、これから行う予定

がある人 a. 9人 b. 26人 c. 6人

講 師：大阪府堺市立三原台中学校

日本語指導センター主任 浦久仁子氏(a、b、c)

子どもの頃に来日した外国人当事者(cのみ)

内 容：子どもへの日本語指導の取り組みや子どもに対する日本語指導の注意点と具体的な方法、当事者の子どもたちから見た日本語指導について学んだ。

イ 地域日本語教室との連携

(ア) 地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している16の教室・団体の課題や問題点の把握に努めるとともに必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

○地域の日本語教室16教室に対して運営資金の一部を助成(76万円)

○日本語コーディネーターによる教室訪問(随時)

○「にほんごクラスマップ」更新

○日本語学習支援者向け研修会の開催

①テーマ：日本語ボランティア入門講座

- 開催日：第1期 a. 令和7年8月1日（金）18:30～20:00
b. 令和7年8月8日（金）18:30～20:00
c. 令和7年8月9日（土）～8月30日（木） 各自教室見学
d. 令和7年8月31日（金）18:30～20:00
- 第2期 a. 令和7年11月1日（日）14:00～15:30
b. 令和7年11月8日（日）14:00～15:30
c. 令和7年11月9日（日）～12月6日（土） 各自教室見学
d. 令和7年12月7日（日）14:00～15:30

場所：第1期 北九州市立生涯学習総合センター

第2期 北九州国際交流協会

参加者：第1期 25人（実数）

第2期 24人（実数）

- 講師：a. 北九州国際交流協会 総括日本語コーディネーター
b. 文部科学省地域日本語教育アドバイザー 一氏隼人氏
c. 地域日本語教室学習支援者
d. 地域日本語教室代表者、地域日本語教育コーディネーター

○地域日本語教室との意見交換会

開催日：5月15日（木）18:00～19:00

場所：北九州国際交流協会、オンライン（Zoom）

参加者数：教室の代表者・メンバー 計12人

（イ）「留学生弁論大会」及び「日本語おしゃべり発表会」の開催

外国人留学生や技能実習生等に日本語でスピーチする機会を提供することで日本語学習意欲の増進と地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進につながった。

○「留学生日本語弁論大会」

開催日：10月12日（日）13:00～16:00

場 所：子どもの館 子どもホール

発表者数：10人（中国3人、ネパール2人、ミャンマー1人、マレーシア1人、インドネシア1人、カンボジア1人、台湾1人、）

来場者数：48人

○日本語おしゃべり発表会

開催日：2月1日（日）13:00～16:30

場 所：子どもの館 子どもホール

発表者数：14人（中国6人、ベトナム3人、インドネシア3人、ネパール1人、モンゴル1人）

来場者数：115人

ウ 外国人受入企業の支援

市内 3 の企業・団体から相談を受け、そのうち 2 企業へ「日本語教育支援」を実施した。

○「北九州国際交流協会の日本語教育支援」

主に外国人スタッフと日本人従業員のコミュニケーションを重視したプログラム。外国人スタッフ向けの 10 回の日本語教育プランに加え、日本人社員向けのコミュニケーション研修がある（外国人スタッフ向け日本語教育は日本語講師を派遣）。また、個別具体的な助言や支援を希望する外国人受入企業に対してコーディネーターを派遣した。

①総合工事業

場所：小倉南区

期間：6 月 4 日～8 月 6 日（毎週 1 回×10 日）

対象者：フィリピン人技能実習生 8 人

②自動車整備業

場所：小倉北区

期間：2 月 26 日～3 月 26 日（毎週 1 回×3 日）

対象者：フィリピン人技能実習生 5 人

エ やさしい日本語普及啓発事業

地域等へ広く「やさしい日本語」を普及すること、「やさしい日本語」を通じて日本人と外国人がコミュニケーションを取り、両者の相互理解を深め多文化共生意識を醸成するために「やさしい日本語」の啓発を行った（北九州市国際政策課との協働事業）。

開催時期：7 月～1 月

開催回数：4 回

対象者：110 人 {一般市民（八幡西区・小倉北区）、外国人受入企業（若松区）、市民センター館長（小倉南区）}

オ 北九州市立夜間中学校（ひまわり中学校）への日本語教育支援

令和 6 年 4 月に開校したひまわり中学校に日本語を母語としない生徒等への日本語学習支援における連携の効果を図るため、日本語コーディネーター等を派遣した。

期間：令和 7 年 8 月～9 月 全 2 回

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 人材バンク登録の推進

ア 人材バンク・協会ボランティア登録の推進

人材バンク登録者及びボランティアの新規登録を進めると共に当協会の事業やイベント等で人材の活用を図った。

<人材バンク> 登録状況 3 月 31 日現在

○翻訳サポーター（協会や市からの依頼により翻訳を行う）：4 人

○日本語教育サポーター（日本語学習の指導を行う）：4 人

○文化紹介サポーター（多文化共生や国際理解推進のための講演や研修を行う）：40 人

○外国語相談サポーター（協会窓口で相談対応や翻訳を行う）：3 人

○外国人住民応援サポーター（協会からの外国人に役立つ情報の発信を行う）5人

<協会ボランティア（言語内訳は重複あり）>

○行政通訳ボランティア：71人（うち3名は2言語登録）

※うち災害時通訳サポーターとして58人登録

中国語26人、英語17人、ベトナム語7人、韓国語6人、インドネシア語2人、
タガログ語4人、ネパール語4人、タイ語2人、ロシア語1人、モンゴル語3人、
ドイツ語1人、ウルドゥ語1人

○医療通訳ボランティア：37人（うち1名は2言語登録）

中国語20人、英語13人、韓国語4人、ベトナム語1人

○専門家相談通訳ボランティア：17人

○交流ボランティアファミリー：64家庭

○日本語教育ボランティア：30人

○読書ボランティア：25人

イ 外国人人材の情報収集・人材発掘

外国人人材を発掘して文化紹介サポーターとして人材バンク登録してもらい、希望する市民センターや学校、穴生学舎、ユースステーション等計22件派遣した。

(2) 留学生等に対する支援

ア 地元企業への就職等支援

○留学生のための北九州市魅力発見ツアー

留学生が北九州市内企業に就職・定着することを目指して、留学生に北九州市の魅力を知ってもらい、北九州市に住みたい、働きたいと愛着を持ってもらうために開催した。

開催日：12月13日

場所：北九州エコタウンセンター、小倉城&旦過市場、TOTOミュージアム

参加者数：10人

イ 関原大連市留学生奨学金給付（関原北九州大連友好基金の活用）

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、北九州市立大学大学院（1人）、九州工業大学大学院（1人）、早稲田大学大学院（1人）に通う留学生（計3人）に、月額2万円（年額24万円）を支給した。

ウ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した（北九州市立大学等計6回）。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 外国人市民の地域社会への参加促進

読書ボランティアのアウトリーチ活動（出張読書活動推進）

外国人市民の読書ボランティア（読書ボランティア 25 人中 13 人が外国人市民）が、主に外国につながる外国人児童・生徒等のために、小倉北区の子ども図書館と八幡西区の八幡図書館折尾分館、若松図書館の 3 か所で計 4 回の多言語お話し会を開催した。

(2) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

（ア）北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット：加盟 60 団体）の事務局支援

総会：5 月 31 日（JICA 九州 2 階セミナールーム）

役員会：6 回開催

ワークショップ・講演会（研修会）：2 回開催

①テーマ：「在留外国人との分断・摩擦解消のために私たちができること」

開催日：5 月 31 日

場所：JICA 九州 2 階セミナールーム

参加者数：20 人

②テーマ：「“旅する母ちゃん” がみた NIPPON～自分に起こる全てのことに意味がある～」

開催日：3 月 14 日

場所：八幡西生涯学習総合センター大会議室

参加者数：29 人

パネル展：10 月 7 日～16 日（ひとみらいプレイス） 参加団体数：14 団体

（イ）民間団体の活動支援

○事業の共催、後援及び広報支援等 共催：4 件 後援：8 件

イ 国際理解教育の推進

（ア）国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、保育施設・小・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。

派遣した市内の学校数、派遣数及び講師数：27 校、30 件・62 人

（イ）協会職員等の講師派遣

小学校、高校、団体等に協会職員や協会ボランティア等を講師として派遣し、自国の生活や文化等の紹介について講義を行った。

○協会職員や協会ボランティア等（派遣回数 24 回）

○協会職員（外国人支援主任（多文化ソーシャルワーカー））（派遣回数 8 回）

○協会職員（日本語コーディネーター・総括コーディネーター）（派遣回数 10 回）

ウ 多文化共生の地域づくり

学習会や交流会、交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の地域づくりを推進した。

(ア) 英語で語る自分の国

回数：5回 参加者数：134人 場所：北九州国際交流協会

7月5日 フランス 29人

9月6日 インドネシア 25人

11月15日 ニュージーランド 24人

1月17日 イギリス 30人

3月7日 フィリピン 26人

(イ) レッツ トーク！☆

外国人市民と日本人が相互理解を深める交流会を開催した。

回数：2回 参加者数：49人 場所：北九州国際交流協会

8月2日 23人（内9人外国人）

2月7日 26人（内13人外国人）

(ウ) 外国人市民の読書活動推進事業

外国につながる子ども言語保持育成と、日本語で育つ子どもの外国語への関心が広がることを目的に多言語おはなし会を開催した。

開催回数：7回 参加者数：108人

7月9日 場所：北九州生涯学習総合センター 参加者数：10人（全員日本人）

8月9日 場所：北九州市立子ども図書館 参加者数：19人（内2人外国人）

9月20日 場所：北九州市立若松図書館 参加者数：23人（内5人外国人）

10月19日 場所：北九州国際交流協会 参加者数：11人（内5人外国人）

11月15日 場所：八幡図書館折尾分館 参加者数：16人（内2人外国人）

12月20日 場所：北九州市立子ども図書館 参加者数：16人（内3人外国人）

1月18日 場所：北九州国際交流協会 参加者数：13人（内6人外国人）

(エ) 若者支援事業（市の委託事業）

○日本語で語る世界めぐり

楽しく学べる異文化交流イベントを開催した。

開催回数：2回 参加者数：36人

場所：八幡西生涯学習総合センター301会議室

8月23日 22人

2月28日 14人

○キーネットパネル展（再掲）

開催期間：10月7日～16日（ひとみらいプレイス）

参加団体数：14団体

○2025KIA 国際交流まつり

北九州市に住んでいる外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりにつながるバザーや図書バザー、「読み聞かせ」（多言語おはなし会）を行った。

開催日：10月18日、19日

場所：北九州国際交流協会

出品国：5カ国 7ブース

来場者数：約640人

○多文化共生ヒューマンライブラリー

北九州に住む外国人を含む語り手が語りを行い、互いの文化や考え方を理解し、多文化理解を深めるためのイベントを開催した。

開催日：12月6日

場所：北九州国際交流協会

参加者数：13人

○国際理解チャチャチャ

中高生を対象に、世界の文化や国際的な知識を楽しく学べるイベントを開催した。

開催回数：3回 参加者数：21人

場所：北九州市八幡西生涯学習総合センター301会議室

7月26日 6人

9月27日 10人

1月24日 5人

(オ) 多文化共生の担い手育成

○コミュニティ通訳者フォローアップ研修（協会事業を支える人材育成）

開催日：2月14日

場 所：八幡西生涯学習センター301会議室

内 容：・講義「コミュニティ通訳の基本ルールと介入行為」

・ケーススタディ（グループでの事例検討）

・通訳スキル向上のための訓練法紹介と実践

・通訳演習

参加者数：8人

○インターンシップ受入れ

①夏季研修

北九州市からの依頼と協会への直接依頼があった大学生を受け入れた。

実習生：北九州市立大学外国語学部国際関係学科3年生2人

北九州市立大学文学部比較文化学科3年生1人

西南女学院大学人文学部英語学科3年生1人

下関市立大学経済学部経済学科1人

計5人

実習期間：8月21日～8月23日 3日間

実習内容：協会事業の学習、外国語相談員にインタビュー及び意見交換、テーマに沿ったグループ発表等

②春季研修

協会への直接依頼があった大学生を受け入れた。

実習生：北九州市立大学外国語学部国際関係学科 1 年生 1 人

北九州市立大学外国語学部国際関係学科 2 年生 1 人

北九州市立大学経済学部経済学科 3 年生 1 人 計 3 人

実習期間：2 月 26 日～2 月 28 日 3 日間

実習内容：協会事業の学習、外国語相談員にインタビュー及び意見交換、ホームページ原稿作成、イベント企画案作成・発表 等

○サービ斯拉ーニング受入れ

梅光学院大学より 2 人の実習生を受け入れた。

実習生：梅光学院大学国際学部国際言語文化学科 2 年 1 人

梅光学院大学文学部人文学科 3 年 1 人 計 2 人

実習期間：11 月 28 日～2 月 2 日 2 か月間

実習内容：イベント補助、事務作業補助、日本語教室補助及びイベント企画と運営
(カ) 地域との連携による多文化ソーシャルワーク推進事業（一般財団法人自治体国際化協会「多文化共生のまちづくり促進事業」助成）

小倉南区吉田校区と横代校区の 2 校区をモデルとして、外国人住民の地域生活課題の把握や地域住民との関係づくりを行い、外国人住民の地域福祉につながる体制を構築するとともに、地域が主体的に交流継続や進展できるような基盤づくりを行った。

《 協会の広報活動 》

○ホームページ等による広報（再掲）

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したホームページから、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

○北九州市が発行する市政だよりに、協会事業やイベント情報の掲載（59 件）

○メールマガジンによる情報提供（月 2 回）

協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信（メールマガジン登録者数：567 人）

○日本語教室やワンストップインフォメーション PR パンフレットの作成・配布（多言語対応）

○「多文化共生わいわい祭り（北九州 YMCA との共催）」への出展

出展日：11 月 3 日

場所：北九州 YMCA

出展内容：世界の民族衣装体験

民族衣装体験ブースの来場者数：320 人

《 協会の賛助会員数 》

○令和 8 年 3 月 31 日現在

法人会員数：26 団体

個人会員数：69 名

Ⅲ 令和7年度決算

1 貸借対照表（総括表）

令和8年3月31日現在（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	13,706,483	6,101,743	7,604,740
未 収 金	3,320,900	1,060,510	2,260,390
前 払 費 用	12,700	10,500	2,200
流 動 資 産 合 計	17,040,083	7,172,753	9,867,330
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	253,821,600	271,875,200	▲18,053,600
定 期 預 金	0	0	0
普 通 預 金	0	0	0
基 本 財 産 合 計	253,821,600	271,875,200	▲18,053,600
(2) 特 定 資 産			
留学生等支援資金積立資産	23,830,172	33,986,709	▲10,156,537
外国人材活躍支援資金積立資産	27,784,768	28,557,547	▲772,779
特 定 資 産 合 計	51,614,940	62,544,256	▲10,929,316
(3) その他固定資産			
車 両 運 搬 具	0	0	
什 器 備 品	13	140,321	▲140,308
そ の 他 固 定 資 産 合 計	13	140,321	▲140,308
固 定 資 産 合 計	305,436,553	334,559,777	▲29,123,224
資 産 合 計	322,476,636	341,732,530	▲19,255,894
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	2,455,429	1,977,790	477,639
前 受 金	0	20,000	▲20,000
預 り 金	596,904	553,895	43,009
流 動 負 債 合 計	3,052,333	2,551,685	500,648
負 債 合 計	3,052,333	2,551,685	500,648
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受 取 寄 付 金	138,785,940	155,871,256	▲17,085,316
指 定 正 味 財 産 合 計	138,785,940	155,871,256	▲17,085,316
（うち基本財産への充当額）	（ 87,171,000 ）	（ 93,327,000 ）	（ ▲6,156,000 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 51,614,940 ）	（ 62,544,256 ）	（ ▲10,929,316 ）
2. 一般正味財産	180,638,363	183,309,589	▲2,671,226
（うち基本財産への充当額）	（ 166,650,600 ）	（ 178,548,200 ）	（ ▲11,897,600 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
正 味 財 産 合 計	319,424,303	339,180,845	▲19,756,542
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	322,476,636	341,732,530	▲19,255,894

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
基本財産運用益	[2,381,000]	[2,381,000]	[0]
基本財産受取利息	2,381,000	2,381,000	0
特定資産運用益	[70,875]	[822]	[70,053]
特定資産受取利息	70,875	822	70,053
受取会費	[674,000]	[741,000]	[▲67,000]
受取賛助会費	674,000	741,000	▲67,000
事業収益	[2,373,750]	[2,364,477]	[9,273]
外国人市民の防災支援受託事業収益	493,000	300,000	193,000
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	1,112,800	993,600	119,200
人材育成受託事業収益	0	349,800	▲349,800
やさしい日本語普及啓発事業収益	410,000	0	410,000
外国人市民と地域住民の交流事業収益	0	399,995	▲399,995
若者支援事業受託事業収益	349,850	0	349,850
外国人受入企業の支援事業収益	0	321,082	▲321,082
翻訳受託事業収益	8,100	0	8,100
受取補助金等	[72,635,000]	[67,751,000]	[4,884,000]
受取北九州市補助金	62,490,000	61,271,000	1,219,000
受取国庫補助金	7,945,000	6,480,000	1,465,000
受取助成金	2,200,000	0	2,200,000
受取寄附金	[10,933,316]	[3,625,820]	[7,307,496]
受取寄附金	44,000	55,616	▲11,616
受取寄附金振替額	10,889,316	3,570,204	7,319,112
雑収益	[618,372]	[754,835]	[▲136,463]
受取利息	32,241	5,111	27,130
その他雑収益	586,131	749,724	▲163,593
経常収益計	89,686,313	77,618,954	12,067,359
(2) 経常費用			
事業費	[78,125,654]	[80,087,485]	[▲1,961,831]
役員報酬	6,836,904	6,154,895	682,009
給料手当	36,543,524	37,075,568	▲532,044
臨時雇賃金	2,951,526	4,199,412	▲1,247,886
福利厚生費	8,693,923	8,251,060	442,863
奨学金	720,000	600,000	120,000
留学生等支援助成金	0	2,100,000	▲2,100,000
外国人材活躍支援助成金	760,000	1,059,000	▲299,000
旅費交通費	1,126,051	1,443,552	▲317,501
通信運搬費	1,291,840	2,092,453	▲800,613
減価償却費	134,694	361,963	▲227,269
消耗品費	526,616	1,165,430	▲638,814
車両費	83,020	124,730	▲41,710
印刷製本費	95,352	203,280	▲107,928
光熱水料費	2,271,433	2,297,843	▲26,410
リース料	1,208,913	1,050,700	158,213
使用料賃借料	4,107,286	4,297,834	▲190,548
交際費	0	23,500	▲23,500
災害保険料	64,861	123,159	▲58,298
報償費	4,594,138	4,268,691	325,447

租 税 公 課	200	4,000	▲3,800
支 払 負 担 金	250,000	250,000	0
委 託 費	5,301,692	2,042,700	3,258,992
図 書 費	164,306	211,105	▲46,799
食 糧 費	13,048	24,392	▲11,344
雑 費	386,327	662,218	▲275,891
管 理 費	[2,374,283]	[2,237,263]	[▲137,020]
役 員 報 酬	383,376	291,205	▲92,171
給 料 手 当	30,858	179,140	▲148,282
福 利 厚 生 費	102,109	112,602	▲10,493
通 信 運 搬 費	12,694	27,226	▲14,532
減 価 却 費	5,612	11,806	▲6,194
消 耗 品 費	8,819	32,312	▲23,493
印 刷 製 本 費	0	2,970	▲2,970
光 熱 水 費	115,811	117,256	▲1,445
リ ー ス 料	50,565	45,504	5,061
使 用 料 賃 借 料	573,136	579,003	▲5,867
支 払 負 担 金	100,000	100,000	0
委 託 費	853,298	660,000	193,298
交 際 費	0	3,000	▲3,000
報 償 費	5,000		5,000
雑 費	133,005	75,239	57,766
経 常 費 用 計	80,499,937	82,324,748	▲1,824,811
評価損益等調整前当期経常増減額	9,186,376	▲4,705,794	13,892,170
基本財産評価損益等	▲11,897,600	▲14,078,700	2,181,100
評価損益等計	▲11,897,600	▲14,078,700	2,181,100
当期経常増減額	▲2,711,224	▲18,784,494	16,073,270
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受 取 寄 附 金	[40,000]	[40,000]	[0]
受取寄附金振替額	40,000	40,000	0
経常外収益計	40,000	40,000	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[2]	[1]	[1]
車両運搬具除却損	0	1	▲1
什器備品除却損	2	0	2
経常外費用計	2	1	1
当期経常外増減	39,998	39,999	▲1
当期一般正味財産増減額	▲2,671,226	▲18,744,495	16,073,269
一般正味財産期首残高	183,309,589	202,054,084	▲18,744,495
一般正味財産期末残高	180,638,363	183,309,589	▲2,671,226
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[▲72,756]	[▲72,756]	[0]
基本財産受取利息	▲72,756	▲72,756	0
受 取 寄 附 金	[0]	[15,000,000]	[▲15,000,000]
受取民間寄附金	0	15,000,000	▲15,000,000
基本財産評価損	[6,083,244]	[6,869,244]	[▲786,000]
一般正味財産への振替額	[▲10,929,316]	[▲3,610,204]	[▲7,319,112]
一般正味財産への振替額	▲10,929,316	▲3,610,204	▲7,319,112
当期指定正味財産増減額	▲17,085,316	4,447,796	▲21,533,112
指定正味財産期首残高	155,871,256	151,423,460	4,447,796
指定正味財産期末残高	138,785,940	155,871,256	▲17,085,316
III 正味財産期末残高	319,424,303	339,180,845	▲19,756,542

IV 令和 8 年度事業計画

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、令和 3（2021）年 3 月に策定した中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の 3 つの分野における事業を実施することとしている。

本年度は、昨年度末から策定に着手した次期中期計画を完成させる予定である。次期中期計画に基づいた実施がなされるまで、急増している外国人市民との共生社会の実現に向けた取組みを引き続き推進していく。具体的には、

- 1 平成 31(2019)年 4 月に設置した「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」において、外国人市民への多言語による生活全般の情報提供・相談を行う。
- 2 「生活支援」の 1 つとして、外国人市民への防災対策を充実させていく。
- 3 外国人市民の言葉の壁を取り除くために、国の施策をふまえて外国人市民への日本語教育を充実させ、同時に日本人等への「やさしい日本語」の普及に取り組んでいく。

本事業計画に基づく予算は、昨年度に引き続き、国及び北九州市の補助金に加え、外国人材活躍支援資金積立試算（寄附金）等の特定資産を活用するほか、賛助会費等の自主財源の確保に努める。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民の相談窓口の充実等

ア 北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの取組み

外国人市民が安心して相談できるよう支援体制の強化・充実に努める。

○協会（八幡西区コムシティ 3 階）及び小倉北区役所で、「外国語相談員」が日本語、英語、中国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語は電話通訳やタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により日本語を含む最大 24 言語の相談に対応

○試行的に区役所等で導入した「オンライン相談」の本格化

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を中心に関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローの実施

○「相談通訳コーディネーター」が翻訳等のサポーターや行政・医療通訳ボランティアの育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援の実施

○日本語教育に関する相談に、「日本語コーディネーター」が「外国語相談員」と連携して対応

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施する。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談」 月 1 回

○弁護士による「法律相談」

月 1 回

○臨床心理士による「心理カウンセリング」

随時

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、北九州市役所関係部局等で構成する「北九州外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の業務にフィードバックすることにより、外国人支援事業の充実を目指す。

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページや SNS を活用した広報

協会のホームページ（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応）及び、フェイスブックやインスタグラム等の SNS を活用し、効果的な情報発信を行う。

特に大雨や台風などの多言語による情報提供を協会ホームページやフェイスブックで速やかに行い、避難準備等の注意喚起を行う。

イ 北九州市災害多言語支援センターの運営

北九州市との協定に基づき、大規模災害発生時に「北九州市災害多言語支援センター」を開設し、外国人への情報提供、支援を必要とする外国人への相談対応等を行う。また、災害に備えた外国人市民等への防災研修を行う。さらに、外国人市民と日頃から関わりのある「外国人住民応援サポーター」に災害に関する情報を外国人市民に拡散してもらう。

(3) 日本語教育の推進と ICT 活用

ア 協会主催の日本語教室の運営等

令和元（2019）年度から文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業補助金」を活用し、「総括コーディネーター」及び「地域日本語コーディネーター」からなる体制を維持してきたが、令和 7（2025）年度も同補助金を活用し、「日本語教育の推進に関する法律（令和元年公布・施行）」及び国が定めた「外国人材の受入れ、共生のための総合的対応策（令和 5 年度改訂）」並びに「地域における日本語教育の在り方について（文化審議会国語分科会報告（令和 4 年）」に沿った日本語教育を推進していく。

○令和 3（2021）年 10 月に文化審議会国語分科会が策定した「日本語教育の参照枠」に沿った「生活者としての外国人」に対する日本語教育の推進のため、令和 6（2023）年度から内容を見直した協会主催教室のさらなる充実○地域で暮らす外国人市民を対象としたオンライン授業や児童生徒を対象とした対面による授業等の積極的な推進

○教室を支援する人材の募集・育成

イ 地域日本語教室との連携・支援

(ア)地域日本語教室の支援

地域で日本語教室を運営している市内 16 の教室・団体の活動経費の一部を助成するほか、研修や意見交換の場を設ける等、各教室・団体に対し必要な支援を行う。

○地域日本語教室への訪問やアンケート、意見交換会、研修の実施

○外国人材活躍支援資積立資産（寄附金）による日本語教室助成金交付

(イ)「日本語おしゃべり発表会」の開催

日本語を学ぶ外国人のモチベーションの向上、地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進を目的として、以下の事業を実施する。

○地域日本語教室で学ぶ外国人市民などを対象とした「日本語おしゃべり発表会」

ウ 外国人受入企業団体等に対する支援

○外国人従業員と日本人従業員のコミュニケーションを重視した協会オリジナルプログラムを使った企業への支援

○令和 6（2024）年 4 月に開校した「北九州市立夜間中学校（ひまわり中学校）」で学ぶ外国人生徒などへの支援

○「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解促進のために、地域住民等に「やさしい日本語」の研修を行い、両者のコミュニケーション能力向上を目指す。

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 外国人人材の発掘・情報収集

外国人人材の情報を収集し、協会との関係を深めることで外国人市民の視点からの魅力発信など、地域への貢献を促進するよう協力を求める。

(2) 留学生に対する支援

ア 地元企業への就職等促進

市内の教育機関（専門学校、大学）に通っている留学生等に地元企業等への就職・市内定着を支援するための取組みを行う。

イ 関原北九州大連友好基金の活用

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、市内の大学等に在籍している留学生に対して奨学金を支給する。

ウ 留学生弁論大会の開催

日本語学習意欲の増進と日本人の留学生の一助とするため、留学生日本語弁論大会を開催する。

エ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供する。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 人材バンク・協会ボランティア登録の推進

翻訳などのサポーターや行政・医療通訳ボランティアなどを発掘して人材バンク等へ登録を推進する。

(2) 自主防災組織等、外国人市民の地域社会への参加促進

地域社会へ貢献する意思のある外国人市民からなる自主組織を積極的に支援するとともに、地域社会において、ボランティア等で活躍する外国人市民が増えていくような取組みを検討する。

(3) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネット加盟団体相互の情報交換等の活動を事務局として支援する。

(イ) 民間団体の活動支援

国際化や多文化共生に取り組む民間団体の事業の共催、後援及び広報支援等を行う。

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等を講師として小・中・高等学校や市民センター等に派遣し、世界の文化や習慣等を紹介し、異文化理解を促進する。

(イ) 講師の派遣

協会の職員や外国語相談員、人材バンクの登録者等が講師となり、小・中・高等学校や市民センター等で自国の生活や文化等を紹介し、参加者との交流により多文化共生の意識を醸成する。

ウ 多文化共生の地域づくり

当協会が長年培ってきた経験とノウハウを最大限に活用し、地域の日本人市民と外国人市民の架け橋となる役割を強化するため、「多文化共生コーディネーター」を配置し、多文化共生環境の整備を推進する。

また、学習会や研修会、国際交流のイベント等を通して、人材づくり・多文化共生の地域づくりを推進する。

V 令和8年度予算

収 支 予 算 書

自 令和8年4月1日
至 令和9年3月31日 (単位:千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,380]	[2,380]	[0]
基本財産受取利息	2,380	2,380	0
特定資産運用益	[1]	[0]	[1]
特定資産受取利息	1	0	1
受取会費	[640]	[700]	[▲60]
賛助会員受取会費	640	700	▲60
事業収益	[16,344]	[2,468]	[13,876]
コミュニティ通訳等派遣受託業務収益	994	1,113	▲119
多文化共生コーディネーター配置事業収益	15,000	0	15,000
外国人防災支援受託事業収益	0	493	▲493
地域でのやさしい日本語普及啓発事業	0	512	▲512
多文化共生人材づくり受託事業収益	350	350	0
受取補助金等	[80,185]	[72,690]	[7,495]
受取北九州市補助金	69,728	62,395	7,333
受取国庫助成金	10,407	7,945	2,462
受取自治体国際化協会助成金	50	2,350	▲2,300
受取寄附金	[3,887]	[2,988]	[899]
受取寄附金	80	80	0
受取寄附金振替額	3,807	2,908	899
雑収	[701]	[689]	[12]
受取利息	1	0	1
その他雑収益	700	689	11
経常収益計	104,138	81,915	22,223
(2) 経常費用			
事業費	[102,388]	[87,045]	[15,343]
役員報酬	6,742	6,626	116
給料手当	49,452	34,990	14,462
臨時雇賃金	3,343	3,237	106
福利厚生費	11,211	7,515	3,696
旅費交通費	2,125	1,724	401
通信運搬費	2,034	2,101	▲67
減価償却費	0	362	▲362
消耗什器備品費	0	2,791	▲2,791
消耗品費	592	530	62
材料費	10	10	0
車両費	60	67	▲7
印刷製本費	186	420	▲234
光熱水料費	2,425	1,425	1,000
リース料	1,483	1,358	125
使用料賃借料	6,411	5,310	1,101
災害保険料	244	284	▲40
報償費	6,769	6,362	407

租 税 公 課	21	0	21
奨 食 学 金	720	720	0
支 払 糧 費	54	76	▲22
留 学 負 担 金	576	374	202
助 学 等 支 援 成 金	1,564	784	780
函 成 金	2,326	0	2,326
委 書 費	180	330	▲150
雑 託 費	3,416	9,124	▲5,708
管 理 費	444	525	▲81
役 員 報 酬	[1,718]	[1,327]	[391]
給 料 手 当	508	349	159
福 利 厚 生 費	446	418	28
会 議 費	113	76	37
旅 費 交 通 費	0	8	▲8
通 信 運 搬 費	0	0	0
減 価 償 却 費	20	15	5
消 耗 品 費	0	12	▲12
光 熱 水 料 費	6	6	0
リ ー ス 料	75	75	0
使 用 料 賃 借 料	164	166	▲2
租 税 公 課	30	0	30
委 託 費	1	2	▲1
雑 費	180	125	55
計 額	175	75	100
経 常 費 用	104,106	88,372	15,734
当 期 経 常 増 減 額	32	▲6,457	6,489
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	32	▲6,457	6,489
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	215,783	222,240	▲6,457
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	215,815	215,783	32
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	0	0	0
一 般 正 味 財 産 振 替 額	▲3,807	▲2,908	▲899
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	▲3,807	▲2,908	▲899
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	128,849	131,757	▲2,908
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	125,042	128,849	▲3,807
III 正味財産期末残高	340,857	344,632	▲3,775

Ⅵ 役員名簿等

1 役員名簿

令和8年7月1日現在

役 職 名	氏 名	備 考
理 事 長	福 原 公 子	(公財)北九州国際交流協会理事長
専務理事	長 濱 信 秀	(公財)北九州国際交流協会専務理事
理 事	井 上 龍 子	八幡駅前開発(株)代表取締役社長
//	狩 野 隆 一	北九州国際交流団体ネットワーク会長
//	若 林 基 治	独立行政法人国際協力機構九州センター所長
監 事	大 石 聡 一 郎	(株)福岡銀行常務執行役員北九州本部長
//	吉 田 智 子	北九州市政策局グローバル挑戦部長

2 市との特命随意契約の状況(令和7年度実績)

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち政策連携団体からの再委託の状況				
委託 業務名	委託 金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約 相手	契約 方法	特命随意 契約の場合 その理由
コミュニティ通訳業務	1,113	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
令和7年度外国人市民の防災支援事業	493	文化的背景等を理解した上で、外国人コミュニティなどと緊密に連携できる団体で、大規模災害発生時に「北九州市災害対応多言語支援センター」を立ち上げる(公財)北九州国際交流協会と連携なくしては外国人市民への防災支援は成しえないため。	再委託なし				
令和7年度若者支援事業	350	北九州ひとみらいプレイスを構成する各施設との連携事業の一環であり、プレイスに所属し、国際関連団体とのネットワークを持つ組織でないと実効性のある履行が期待できないため。	再委託なし				
令和7年度やさしい日本語普及・多文化共生意識啓発事業	410	外国人について優れた知見と実績を有し、また、外国人の文化的背景を理解し対応できる事業者が(公財)北九州国際交流協会以外にないため。	再委託なし				
合 計	2,366		合 計				